

西原自然の森 福祉・芸術交流拠点化事業

—No.61 宮代町—

【事業の目的】

平成27年4月に閉館した旧ふれ愛センターを改修し、当該建物を福祉施設として集約・再整備するとともに、町出身アーティストによる作品展示スペースを設けました。

ここを福祉・芸術の拠点とし、町内外の人々による様々な交流を生み出す町の魅力発信施設とすることを目的としています。

【事業の内容】

①西原自然の森 福祉・芸術拠点整備事業（令和2年度）

旧ふれ愛センターの必要な修繕を行うとともに、交流スペースを設置します。

②西原自然の森 福祉・芸術交流拠点オープンイベント事業（令和3年度）

リノベーション後の当該施設オープン時にイベント、片桐仁氏のアート作品展示（できれば併せて本人トークイベント開催、その後も交流イベント開催）を行います。

【事業年度】

令和2年度から令和3年度（2か年）

【予算額(千円)】

151,500千円（令和2年度～令和3年度）

うち 150,000千円（令和2年度）

【財源】

ふるさと創造資金（県）、ふるさと創造貸付金（県）、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

公共施設マネジメント計画に基づき機能移転、廃止した旧ふれ愛センター

建物について、当該建物を含む西原自然の森エリアを公有地化したことに伴い有効活用する必要がありました。一方、2つの福祉作業所等の場所が互いに離れていることによる事業運営の非効率性の解消及び受け入れニーズ増加に伴う定員増加の必要性が高まっている状況にあったことから本事業の実施に至りました。

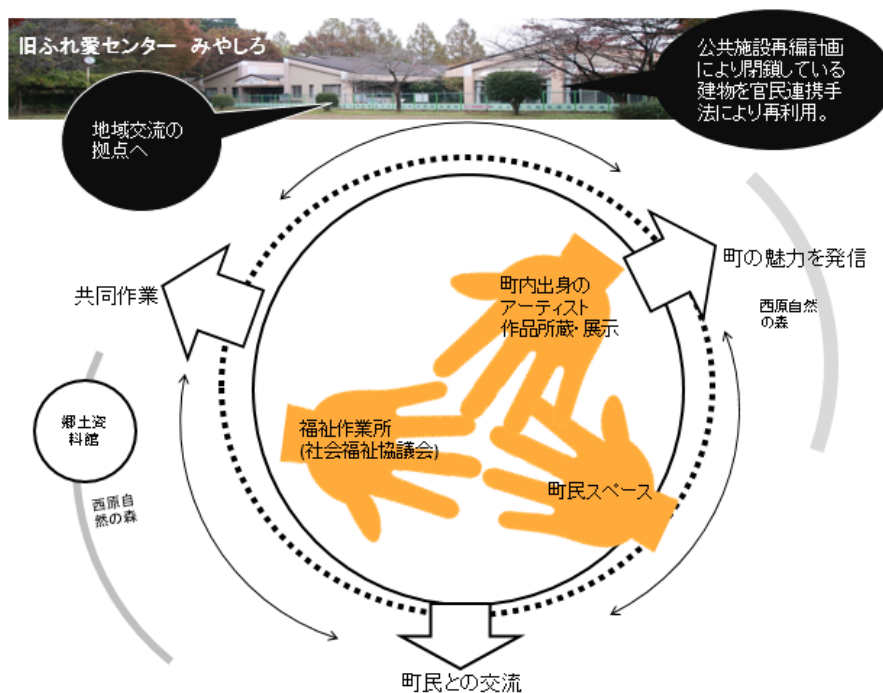
【事業のPRポイント】

複数の施設で分散しているものを1か所に集約することで事業の効果的な運営が期待できるとともに、健常者と障がい者との交流、宮代町外交官の片桐仁氏の造形物展示による文化・芸術拠点になることも期待できます。

【事業実績・成果・今後の展開】

令和2年度に新たな福祉・芸術交流拠点が完成し、令和3年度のオープンに合わせ、オープニングイベントを実施することで当該施設の認知度を高めるとともに、西原自然の森の持つ魅力を発信する機会を設けることで、当該施設を含む西原自然の森を訪れる人同士の交流はもちろん、障がい者との交流機会を確保することが期待できます。また、町外交官片桐仁氏のアート作品を展示することで、より多くの町内外の方に当該施設及び西原自然の森の魅力を発信することが可能となります。

【参考資料】



〔 連絡先 〕

企画財政課 財政担当

0480(34)1111(内線216)